

田口康子さんと山崎孝子さんが埼玉県知事表彰を受賞

11月14日に開催された「県民の日記念式典」において、統計調査員の田口康子さん（持田）と民生委員・児童委員の山崎孝子さん（佐間）が、埼玉県表彰規則に基づき、大野埼玉県知事から表彰されました。
この表彰は、県民の模範となるべき功績のあった個人や団体をたたえるものです。



埼玉県知事表彰を受賞した田口康子さん

田口さんは、長年にわたり統計調査員として各種統計調査に従事し、統計業務の円滑な実施に尽力してきたことが高く評価されました。

▶問い合わせ 広報広聴課統計担当(内線319・322)



埼玉県知事表彰を受賞した山崎孝子さん

山崎さんは、長年にわたり民生委員・児童委員として熱意をもって地域福祉活動に取り組み、社会福祉の増進に貢献していることが高く評価されました。

▶問い合わせ 地域共生社会推進課地域福祉担当(内線354・285)

選挙管理委員会委員・補充員が決まりました

任期満了に伴う行田市選挙管理委員会委員および補充員を選出する選挙が市議会で行われ、それぞれ次の方々に決定しました。任期は、令和6年12月15日から令和10年12月14日までの4年間です。

また、改選後、初めて開催された選挙管理委員会において、委員長に江森保氏が選出され、委員長職務代理者に森田増雄氏が指名されました。

委員長



江森 保氏(再)
(関根)

委員長職務代理者



森田 増雄氏(再)
(向町)

委員



新井 敏夫氏(再)
(谷郷)

委員



町田 祥子氏(再)
(佐間)

補充員

江利川芳治氏(新)(城西) 講内 靖夫氏(新)(富士見町)
吉田 桂子氏(再)(向町) 石濱妃代恵氏(再)(清水町)

▶問い合わせ 選挙管理委員会(内線219)

エートス協同組合と災害時応援協定を締結しました



協定を締結した原田理事長代理(左)と行田市長

11月8日、エートス協同組合と「災害等発生時における車両の移動等に関する協定」を締結しました。

この協定は、災害などが発生した場合に緊急車両の通行を妨げる道路上の放置車両を移動してもらうもので、これにより災害からの円滑な復旧が図られ、市民生活の早期安定が期待できます。

災害時応援協定について

本市では災害に備え、多種多様な業種の事業者と避難場所の確保、避難生活の環境向上などに関する災害時応援協定の締結を推進しています。
事業者の皆さんのご協力をお願いします。

▶問い合わせ 危機管理課(内線281)

令和7年

行田市二十歳を祝う会実行委員会 二十歳の抱負

1月12日(日)、産業文化会館ホールで令和7年行田市二十歳を祝う会が開催されます。ここでは、この式典の企画を行ってきた実行委員長と副実行委員長に二十歳を迎えた心境や抱負などを語ってもらいます。

「自覚と責任」

実行委員長 **あさま 浅間 かのん 叶望さん**(忍中学校出身)

二十歳という人生の新たなスタートに立った今、私は、幼い頃からここまで育ててくれた両親、先生、地域の方々、たくさんの方への感謝の気持ちでいっぱいです。この場を借りて感謝を申し上げます。

この20年間は長かったようで短くも感じられますが、「大人への仲間入り」をした今、改めて身が引き締まる思いです。私はまだ学生であり、正直なところ、大人になるということに対しての実感がなく、不安を覚えることもあります。そんな中でも、自分の夢に向かって努力したり、環境の変化やさまざまな人との出会いを経験したりしながら、少しずつ一人前の大人になっていくのだと思います。私は20歳になったから大人になったということではなく、成人になったからこそ大人としての自覚を持ち、責任ある言動をするべきなのだと思います。今後、困難な壁にぶつかったり、大きな失敗をしたりして挫折を味わうこともあるでしょう。しかし、そうなった時も一生懸命に努力を積み重ねていけば、その経験が糧となり、その分幸せや成果が実ると思います。だからこそ1人で抱え込まないよう、周りの人を助け、時には助けてもらいながら、社会の一員としての自覚と責任を持って行動していきたいと思っています。

最後に、まだまだ未熟な私たちはこれからも家族や周りの方々に頼ることもありますが、感謝の気持ちを忘れずに、少しずつ恩返しをしていきたいと思っています。これからもご指導よろしくお願い致します。

「出会いに感謝」

副実行委員長 **ねぎし いちろう 根岸 一朗さん**(埼玉中学校出身)

二十歳という節目を迎え、これまでの人生を振り返ると、多くの方々との出会いやさまざまな経験がありました。義務教育を終えるまでの15年間は、地域の方々の温かい見守りと、友達や先生、家族の存在が私の心を元気にしてくれました。コロナ禍での高校生活は、不安でいっぱいでしたが、新しい環境の中で新しい仲間と共に、自分たちで何ができるかを考え行動し、何事も最後まで諦めずやり遂げることを経験しました。先生方からは、勉強のみならず、礼儀や人としてのマナーを教えてくださいました。数えきれないほどの人々との出会いの中で、切磋琢磨した仲間たちや、私の知らないところで支えてくださった方々の存在が私をここまで導いてくれました。本当にありがとうございました。

二十歳という年齢は、私たちにとって大きな節目の年であると同時に、将来について考えなければならぬ年だと思います。大学でさらに視野を広げ、変化の激しい時代の中で変化に動じない自分の哲学を持ち、明るい未来を担っていききたいと思います。一人一人の持つ責任の大きさを十分に理解し、一人の大人として^{ふさわ}しい行動を目指していきます。

最後に、今まで支えてくださった全ての方々に心から感謝申し上げます。そして、皆様の期待に応えられるよう精進してまいります。これからもよろしくお願いいたします。

▶問い合わせ 生涯学習課☎556—8319